

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

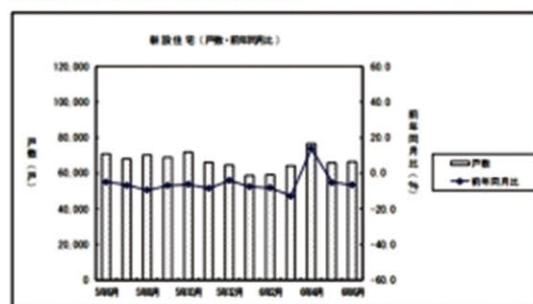


8月のアルミ概況及び9月の見通し (2)

予想レンジ

LME現物後場買い 2,400~2,600ドル ●
スクラップ+10円~+20円(前月最終価格より) ●
為替 140円~150円 円安
(1か月間TTM)

新設住宅(戸数・前年同月比)



出典 国土交通省統計

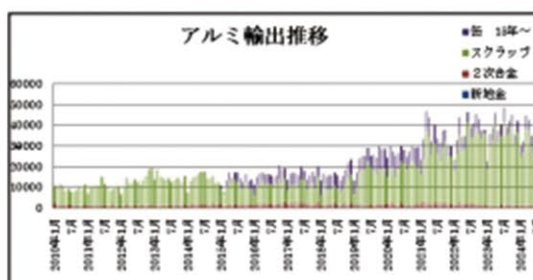
◆貿易指標

【輸出】

新地金は-56.9%の124 t。
二次合金は+284%の2,528 t。
スクラップは-27.1%の2万9,804 t。
アルミ缶は+17.4%の7,702 t。

輸出	5月	6月	7月
新地金	225 t	185 t	124 t
前年比	-6.6%	-30.7%	-56.9%
二次合金	761 t	950 t	2520 t
前年比	+73.7%	-14%	+284%
スクラップ	2万8768 t	2万5916 t	2万9804 t
前年比	-14%	-22.5%	-27.1%
缶	5296 t	7641 t	7702 t
前年比	-5.7%	+39.2%	+17.4%

輸出推移



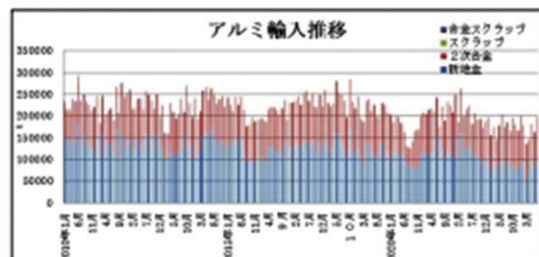
出典 財務省貿易統計

【輸入】

新地金は-17.9%の10万817 t。
二次合金は+9.4%の9万5,719 t。
スクラップは+177.6%の805 t。
合金スクラップは+14%の7,499 t。

輸入	5月	6月	7月
新地金	10万1579 t	8万4770 t	10万817 t
前年比	+5.8%	-14.3%	-17.9%
二次合金	7万8961 t	7万7412 t	9万5719 t
前年比	-7.7%	-24.4%	+9.4%
スクラップ	1033 t	746 t	805 t
前年比	+6.9%	+21.3%	+177.6%
合金スクラップ	6658 t	7146 t	7498 t
前年比	-30%	+1.46%	+14%

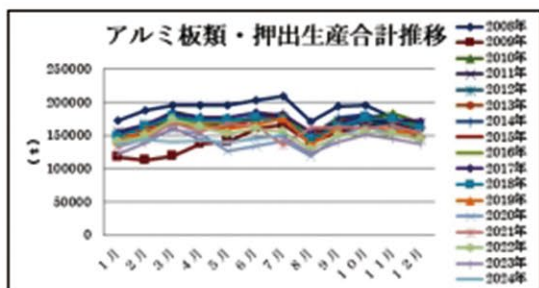
輸入推移



出典 財務省貿易統計

【アルミ圧延・押出生産数】

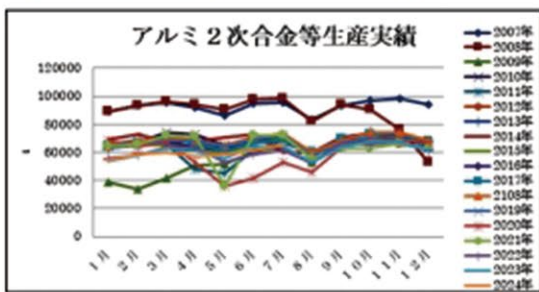
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+2.5%の15万1,104 tでプラスに反転。



出典 日本アルミニウム協会

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は+2.3%の6万5,718 tでプラスに反転。
出荷は+3%の6万0,417 tでプラスに反転。



出典 日本アルミニウム合金協会

(次頁へつづく)

【見通し】

【自動車】

7月の自動車生産が+2.9%。8月国内販売台数が前年比-2.4%。販売が再び増加、生産は反転増加。ここ数カ月増加減少が交錯しており来月以降のその繰り返しか。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比+2.5%の15万1,104tでプラスに反転。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比は+2.3%、6万5,718t、プラスに反転。

出荷は+3%、6万0,417t、プラスに反転。

トヨタ新たに是正勧告が出されたことによる低迷観測。来月以降に注視。

【スクラップ景況予想】

流通（一次問屋）在庫はLME価格が2,252から2,500ドル台と上昇だったことから出荷し在庫薄。

需要面に関して、先月の相場低迷による持ち込み量の減少から在庫薄。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

①米FRBの金融政策

パウエルFRB議長が23日に行った講演で政策を調整する「時期が来た」とし、9月に利下げに着手する可能性を示唆。むしろ最初の利下げ幅がどの程度にな



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
電話 06-6649-0045 代表〒556-0011 工場 大阪市浪速区稲荷1-11-5
電話 06-6561-7331~2

るかに注視したい。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2300-2600ドル(セツル)との予想。

ドル円値は140円~150円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては+10から+20円程度と予想している。

(「8月のアルミ概況および9月の見通し」おわり)



エクアドル：加Solaris Resources社、エクアドルに本社を移転する予定

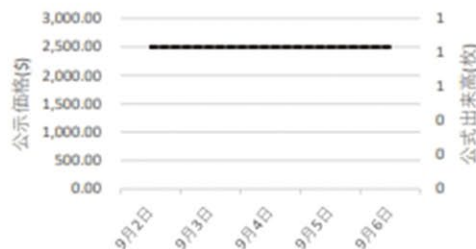
2024年9月9日付けのプレスリリースによると、加Solaris Resources社はエクアドルで進めるWarintza銅プロジェクトの建設に関する環境影響評価(EIA)を環境・水資源・エコロジー移行省に提出するとともに、エクアドルの首都Quitoに本社を移転することを発表した。

移転プロセスを進めるため更なるステップの評価を続けるとともに、現時点では税制上における不利な影響や証券取引所の上場を変更する必要は生じないと考えている。

同社は2024年5月にカナダ投資法に基づくカナダ規制当局の審査が4か月を経て完了していないことなどを理由に、中Zijin Mining Group(紫金鉱業集団股份有限公司)に同社の普通株式15%を売却する計画を中止していた。

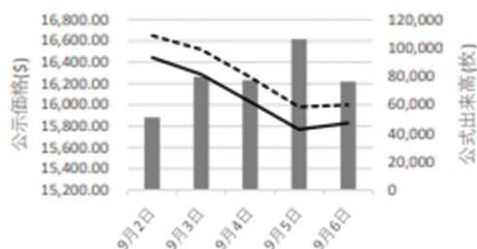
LME公式値週間推移 9月2日~9月6日(現地)

LME北米特殊アルミ合金



■ 出来高 ■ 直物 - - - 先物

LMEニッケル



■ 出来高 ■ 直物 - - - 先物